

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		91	人権啓発推進事業	部・課	市長公室 人権政策室
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等		11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち		
	取り組みの方向		11-① 全ての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権問題を正しく理解し、一人ひとりの個性や価値観、多様な文化を認め合えるよう人権教育・啓発の推進を図ります。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針	○	人権課題を身近に感じ考える機会として、次代を担う子どもたちに対し、暴力の被害者や加害者にならないためのDV予防や男女共同参画の理解を深める学習を実施するなど、効果的な人権教育・啓発活動を推進する。		
	2017(H29)年度市政運営方針	○	人権教育や啓発活動等を通して、一人ひとりの個性や価値観、多様な文化を認め合うことのできる人権感覚の醸成に取り組む。		
	2018(H30)年度市政運営方針	○	すべての人の人権が尊重され、差別のない社会をめざし、さまざまな人権課題をテーマとした講座等の継続的な実施を通じて、一人ひとりの個性や価値観、多様な文化を認め合うことのできる人権感覚の醸成に引き続き取り組む。		

事業概要 (目的・内容等)	人権が尊重されるまちづくりをめざして、啓発事業を実施する。 ○連続講座「生きること」 講師が自らの体験を一人称で語り、その生き様を通して参加者に「生きること」とは何かを考えてもらう。 ○人権文化セミナー 高齢者、女性、障害者などさまざまな人権問題に関する講演会や映画会などを実施し、市民の人権意識の高揚を図る。 ○人権週間事業 毎年12月4日から10日の「人権週間」に併せて街頭啓発や講演会などを実施し、市民の人権意識の高揚を図る。 ○北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 毎年12月10日から16日の「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に併せて拉致問題をはじめとする人権侵害問題に関するパネル展などを実施し、市民の関心と認識を深める。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		人権が尊重されるまちづくりをめざして、連続講座「生きること」、人権文化セミナー、人権週間事業、及び北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業を実施した。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	人権が尊重されるまちづくりをめざして、連続講座「生きること」、人権文化セミナー、人権週間事業、及び北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業を実施。
	実績（評価）	○連続講座「生きること」の開催(9/9、14、21、28の全4回 189人)及び記録冊子の作成・配架 ○人権文化セミナーの開催 映画「風は生きよという」の上映及び出演者のお話(10/1 140人) ○人権週間事業 ・街頭啓発(12/2 京阪電車枚方市駅・樟葉駅、JR長尾駅) ・ダ・カーポ トーク&コンサート ～野に咲く花のように～(12/8 1,095人) ○北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 北朝鮮人権侵害問題啓発パネル展(12/8 人権週間事業と同時実施したため、参加者数は同事業に含む。)
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	○連続講座「生きること」の開催(9/20、27、10/5、12の全4回 159人)及び記録冊子の作成・配架 ○人権文化セミナーの開催 桂福点さんによる講演会「大笑いゼーションでノーマライゼーション」(10/25 190人) ○人権週間事業 ・街頭啓発(12/1 京阪電車枚方市駅・樟葉駅、JR長尾駅) ・李政美さんのトーク&コンサート「自分を愛し、人を愛すること」(12/6 148人) ・映画「くちびるに歌を」の上映(12/8 186人) ○北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 北朝鮮人権侵害問題啓発パネル展(12/6 人権週間事業と同時実施したため、参加者数は同事業に含む。)

2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	○連続講座「生きること」の開催(9/6、13、19、26の全4回 145人)及び記録冊子の作成・配架 ○人権文化セミナーの開催 ドキュメンタリー映画「もうろうをいきる」(10/24 140人) ○人権週間事業 ・街頭啓発(12/3 京阪電車枚方市駅・樟葉駅、JR長尾駅) ・沢田知可子さん トーク&コンサート「うたに力を、こころに夢を」(12/6 291人) ○北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 北朝鮮人権侵害問題啓発パネル展(12/6 人権週間事業と同時実施したため、参加者数は同事業に含む。)
2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	○連続講座「生きること」の開催(9/19、26、10/2、9の全4回 182人)及び記録冊子の作成・配架 ○人権文化セミナーの開催 映画「ケアニン～あなたでよかった～」(9/18 235人) ○人権週間事業 ・街頭啓発(12/3 京阪電車枚方市駅・樟葉駅、JR長尾駅) ・野田あすかさん ミニ演奏会～あなたはあなたのままで～、野田恭子さん 講演会～発達障害の娘との37年～(12/8 291人) ○北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 北朝鮮人権侵害問題啓発パネル展(12/8 人権週間事業と同時実施したため、参加者数は同事業に含む。)
備考		

課題・今後の対応	性別や国籍の違い、高齢者、障害者などに対する差別・虐待、また、同和問題、ハンセン病問題などさまざまな人権課題がいまだ現存する中、インターネットによる誹謗中傷などの人権課題も顕在化しており、人権意識の高揚が求められている。 今般は、新型コロナウイルスに係る偏見や誹謗中傷も発生していることから、市民の人権意識の更なる高揚を図るため、引き続き啓発活動に取り組んでいく。なお、講座等については感染拡大防止のため、内容や開催時期を十分に調整したうえで実施する。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
人権啓発事業の参加者数		○		1,962	750	1,424	683	576	708	919	人	
指標の説明				年度により会場等が異なるため、参加者数が大きく変動する。令和元年度については、前年度から増加したものの目標値には至らなかった。							当初目標値	達成年度
人権に関する講座など人権啓発事業の参加者数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	5,239	0	0	0	0	0	5,239
2017(H29)年度	5,156	0	0	0	0	0	5,156
2018(H30)年度	9,518	0	0	0	0	0	9,518
2019(R1)年度	9,724						9,724

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	，用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	------	--------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		92	性的マイノリティ支援事業	部・課	市長公室 人権政策室
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等		11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち		
	取り組みの方向		11-① 全ての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権問題を正しく理解し、一人ひとりの個性や価値観、多様な文化を認め合えるよう人権教育・啓発の推進を図ります。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
総合戦略との関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針		○ また、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、男女平等教育等を推進します。あわせて、多様な性への理解促進を目的とした啓発を行うとともに、配偶者等からの暴力に関する相談窓口の周知、啓発事業を実施します。		

事業概要 (目的・内容等)	性の多様性の理解促進に向けて、本市においては、平成28(2016)年度策定の第3次枚方市男女共同参画計画に基づき、これまで市民向けの啓発や職員向けの研修を行ってきたが、近年全国の動きをみると、LGBT支援に関してより積極的な取り組みが求められている。LGBTなどの性的マイノリティの方がより暮らしやすいまちづくりを進めることは、当事者だけでなく、誰もが多様性を認め合い、いきいきと暮らせる人権尊重のまちづくりを進めることとなる。本市においても、LGBTなど性的マイノリティの方への更なる支援を進めるため、①LGBT支援宣言(平成30年度中に実施)、②パートナーシップ制度導入、③LGBT専門電話相談窓口の設置を行うものである。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	
	実績(評価)	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	
	実績(評価)	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	
	実績(評価)	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	性的マイノリティ支援事業（パートナーシップ宣誓制度の導入、LGBT電話相談の実施、コミュニティスペースの開設など）の実施と周知
	実績（評価）	平成30年度末に性的マイノリティの方を市が積極的に支援することを表明した「ひらかた・にじいろ宣言」を行い、4月からパートナーシップ宣誓制度を導入、元年度で9組の宣誓があった。また同じく4月からLGBT専門電話相談、7月からは当事者と支援者が気軽に集まり情報交換できる場所として、コミュニティスペース「ひらかた・にじいろスペース」を月1回のペースで開始した。 ・LGBT専門電話相談 8件 ・ひらかた・にじいろスペース 計9回 延べ75人 また市民参画型啓発事業の「ウィル・フェスタ2019」（9/21）において性的マイノリティ当事者の方の講演会とコンサート（89人）や小中学生の絵画展、当事者団体の講演会、LGBTパネル展示を行った（男女共同参画啓発・相談事業の経費で実施）。
備考		

課題・今後の対応	パートナーシップ宣誓制度、LGBT専門電話相談、ひらかた・にじいろスペースなど当事者に対する施策をさらに充実させ、周知していくとともに、支援者（＝アライ）の育成に向けた市民に対する啓発事業、職員に対する研修にも取り組んでいく。パートナーシップ宣誓制度で可能になる市の制度を拡大していけるよう庁内環境の整備に取り組む。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
性的マイノリティに関する相談件数								8	—	件	
指標の説明			初年度の相談件数は8件。潜在的なニーズはあると思われるので、今後さらに相談事業の周知を進めていく必要がある。							当初目標値	達成年度
専門電話相談窓口における相談件数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	755						755

整備事業の場合の総事業費	0 千円	（建設経費		千円	，用地費		千円）
--------------	------	-------	--	----	------	--	-----

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		93	配偶者暴力相談支援事業		部・課	市長公室 人権政策室
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等		11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち			
	取り組みの方向		11-② 配偶者等からの暴力(DV)や、高齢者、障害者等へのさまざまな人権侵害に対し、関係機関が連携しながら支援の充実を図ります。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係					
と総合戦略の関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度市政運営方針	○	人権課題を身近に感じ考える機会として、次代を担う子どもたちに対し、暴力の被害者や加害者にならないためのDV予防や男女共同参画の理解を深める学習を実施するなど、効果的な人権教育・啓発活動を推進する。			
	2017(H29)年度市政運営方針	○	配偶者等からの暴力については、相談窓口である「ひらかたDV相談室」の周知や予防に関する啓発事業を進める。			
	2018(H30)年度市政運営方針	○	性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、男女平等教育等を推進する。あわせて、多様な性への理解促進を目的とした啓発を行うとともに、配偶者からの暴力に関する相談窓口の周知、啓発事業を実施する。			
事業概要 (目的・内容等)			DV被害者に対する支援体制の充実を図るため、枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において専門相談員を配置し、DV被害者に対し相談から法的な手続きまで継続的な支援を行う。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」を平成25年4月に開設し、専門相談員による面接相談、電話相談を行い、関係機関と連携しながら被害者支援に努めている。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・「ひらかたDV相談室」における相談、緊急時の安全確保、法的手続き等に関する支援 ・警察や大阪府女性相談センターなどの関係機関との連携強化 ・教育委員会と連携し、市内の小学4年生を対象に、次代を担う子どもたちが暴力の被害者や加害者にならないためのDV予防教育プログラムの他、DV被害者回復プログラムや幅広く市民を対象とした啓発事業を実施	
	実績（評価）	女性に対するあらゆる暴力を根絶するための啓発活動と相談支援体制の強化を図った。 ・DV被害者支援の専門相談機関「枚方市配偶者暴力相談支援センター」において、面接607件、電話993件の相談を受けた。 ・男女共生フロアを拠点として、女性に対する暴力をなくす運動週間事業など講座等14回(参加延べ293人)を実施した。 ・枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議開催(3回)及び研修会(1回)により連携強化を図った。 ・配偶者とのトラブルを抱え悩んでいる女性同士が安全・安心な環境で語り合い、共に考える場を提供する、臨床心理士を講師とした被害者相互支援プログラム「DV被害者心のケア事業」を実施した。 ・教育委員会と連携し、DV予防教育として、市内小学校4校の4年生計544人を対象に「DV予防教育プログラム」を実施し、同プログラム実施校において、放課後研修として、教職員200人を対象に同プログラムを踏まえた教職員研修を実施した。 ・緊急一時保護事業:緊急一時保護8件 ・DV相談窓口案内カード、リーフレットの配布、車体広告掲示、HP等による情報提供を行った。	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	女性に対するあらゆる暴力を根絶するための啓発活動と相談支援体制の強化を図った。 ・DV被害者支援の専門相談機関「枚方市配偶者暴力相談支援センター」において、面接610件、電話774件の相談を受けた。 ・男女共生フロアを拠点として、女性に対する暴力をなくす運動週間事業など講座等18回(参加延べ324人)を実施した。 ・枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議開催(2回)及び研修会(1回)により連携強化を図った。 ・配偶者とのトラブルを抱え悩んでいる女性同士が安全・安心な環境で語り合い、共に考える場を提供する、臨床心理士を講師とした被害者相互支援プログラム「DV被害者心のケア事業」を実施した。 ・教育委員会と連携し、DV予防教育として、市内小学校7校、中学校1校、計545人を対象に「DV予防教育プログラム」を実施し、同プログラム実施の小学校において、放課後研修として、教職員179人を対象に同プログラムを踏まえた教職員研修を実施した。 ・緊急一時保護同行支援事業:8件 ・DV相談窓口案内カード、リーフレットの配布、車体広告掲示、HP等による情報提供を行った。	

2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	女性に対するあらゆる暴力を根絶するための啓発活動と相談支援体制の強化を図った。 ・DV被害者支援の専門相談機関「枚方市配偶者暴力相談支援センター」において、面接649件、電話771件の相談を受けた。 ・男女共生フロアを拠点として、女性に対する暴力をなくす運動週間事業など講座等19回(参加延べ388人)を実施した。 ・枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議開催(2回)及び研修会(1回)により連携強化を図った。 ・配偶者とのトラブルを抱え悩んでいる女性同士が安全・安心な環境で語り合い、共に考える場を提供する、臨床心理士を講師とした被害者相互支援プログラム「DV被害者心のケア事業」を実施した。 ・教育委員会と連携し、DV予防教育として、市内小学校5校、中学校7校、計1,585人を対象に「DV予防教育プログラム」を実施し、同プログラム実施の小学校において、放課後研修として、教職員140人を対象に同プログラムを踏まえた教職員研修を実施した。 ・緊急一時保護同行支援事業:2件 ・DV相談窓口案内カード、リーフレットの配布、HP等による情報提供を行った。
2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	女性に対するあらゆる暴力を根絶するための啓発活動と相談支援体制の強化を図った。 ・DV被害者支援の専門相談機関「枚方市配偶者暴力相談支援センター」において、面接456件、電話721件の相談を受けた。 ・男女共生フロアを拠点として、女性に対する暴力をなくす運動期間事業のうちの法律講座など、講座等10回(参加延べ42人)を実施した。 ・枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議開催(2回)及び研修会(1回)により連携強化を図った。 ・配偶者とのトラブルを抱え悩んでいる女性同士が安全・安心な環境で語り合い、共に考える場を提供する、臨床心理士を講師とした被害者相互支援プログラム「DV被害者心のケア事業」を実施した。 ・教育委員会と連携し、DV予防教育として、市内小学校10校、中学校12校、計2,843人を対象に「DV予防教育プログラム」を実施し、同プログラム実施の小学校において、放課後研修として、教職員244人を対象に同プログラムを踏まえた教職員研修を実施した。 ・緊急一時保護同行支援事業:6件 ・DV相談窓口案内カード、リーフレットの配布、HP等による情報提供を行った。
備考		

課題・今後の対応	障害や高齢、生活困窮など複合的な困難を抱えた被害者の支援のために他課との連携が必要となる。引き続き医療、保健関係者及び保育、教育関係者への周知に努めるとともに、次代を担う子どもたちに対し、DV予防教育の拡充に努める。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
DV被害に関する相談件数(延べ)	○		1,090	1,165	1,600	1,384	1,420	1,177	-	件	
指標の説明			延べ件数は減少傾向にあるが、必要な支援を継続して実施している。							当初目標値	達成年度
配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」におけるDV被害に関する相談件数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	7,901	1,330	0	0	0	0	6,571
2017(H29)年度	7,583	1,411	0	0	0	0	6,172
2018(H30)年度	8,649	2,233	0	0	0	0	6,416
2019(R1)年度	8,068	1,959	0	0	0	0	6,109

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	，用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		94	高齢者虐待防止事業	部・課	地域健康福祉室 健康福祉部（健康福祉総合相談担当）
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等		11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち		
	取り組みの方向		11-② 配偶者等からの暴力(DV)や、高齢者、障害者等へのさまざまな人権侵害に対し、関係機関が連携しながら支援の充実を図ります。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略の関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度 市政運営方針				
	2017(H29)年度 市政運営方針				
	2018(H30)年度 市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	平成18年4月1日に施行された「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、高齢者への差別や虐待の防止を図るため、市内の高齢者サポートセンターなどにおいて、地域住民への広報・啓発や、虐待に関する相談支援を実施するとともに、枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議などによる関係機関・団体との連携強化に取り組む。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況	高齢者サポートセンターが開催する地域ケア会議などにおいて、医療機関、民生委員、介護事業所などに対して啓発などを行なう。 高齢者虐待に関する相談支援を市、高齢者サポートセンター窓口において実施する。 高齢者虐待防止ネットワーク構築のため、枚方警察署・交野警察署、枚方寝屋川消防組合、いきいきネット相談支援センター、保健所、DV相談室、各種介護サービス事業所連絡会等の関係機関による枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議を開催する。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・「高齢者サポートセンター」などにおける虐待防止に向けた啓発・相談支援 ・枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議の開催
	実績（評価）	枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議開催数:1回。 平成28年度の高齢者虐待に関する市への相談件数は、119件であった。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・「高齢者サポートセンター」などにおける虐待防止に向けた啓発・相談支援
	実績（評価）	・枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議開催数:1回 ・平成29年度の高齢者虐待に関する市への相談（通告）件数:103件 ・地域包括支援センターが虐待相談対応（支援）した件数:531件、市が虐待相談支援した件数:227件
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・「高齢者サポートセンター」などにおける虐待防止に向けた啓発・相談支援
	実績（評価）	・枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議開催数:1回 ・平成30年度の高齢者虐待に関する市への相談（通報）件数:115件 ・地域包括支援センターが虐待相談対応（支援）した件数:529件 ・高齢者虐待に関し、市が警察等の関係機関からの情報提供を受け、関係部署や関係機関と連携して対応にあたった。

2019(R1)年度 の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・枚方市高齢者虐待ネットワーク会議（未開催）：平成30年度開催時に参加者より会議内容等の見直しに関する意見があり、より効果的な開催を目指し、構成員や内容、開催方法を検討した。 ・高齢者虐待防止の取り組みとして、啓発リーフレットやパワーポイントを作成し、関係機関や住民へ周知を図った。 ・令和元年度の高齢者虐待に関する市への相談（通報）件数：166件 ・地域包括支援センターが虐待相談対応（支援）した件数：398件 ・高齢者虐待に関し、市が警察等の関係機関からの情報提供を受け、関係部署や関係機関と連携して対応にあたった。
備考		

課題・今後の対応	一時保護施設の確保等、高齢者虐待防止における社会資源の把握や開発、関係機関による情報の共有、地域の見守り体制や、虐待の早期発見・早期対応に向けた関係機関連携の強化を推進する。 地域住民に対しても高齢者虐待に対する関心が高まるよう、正しい知識、相談窓口等に関する周知・啓発なども引き続き行っていく必要がある。	
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
高齢者虐待に関する相談件数		○		96	117	119	103	115	166	-	件	
指標の説明				令和元年度の高齢者虐待に関する市への相談件数は166件であった。							当初目標値	達成年度
高齢者虐待に関する市への相談件数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	0	0	0	0	0	0	0
2019(R1)年度	0	0	0	0	0	0	0

整備事業の場合の総事業費	0 千円	（建設経費	0 千円	，用地費	0 千円	）
--------------	------	-------	------	------	------	---

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		95	障害者虐待防止事業	部・課	健康福祉部 地域健康福祉室 (障害福祉担当)
総合計画との関係	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち			
	取り組みの方向	11-② 配偶者等からの暴力(DV)や、高齢者、障害者等へのさまざまな人権侵害に対し、関係機関が連携しながら支援の充実を図ります。			
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
総合戦略との関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度 市政運営方針				
	2017(H29)年度 市政運営方針				
	2018(H30)年度 市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	障害者に対する虐待の未然防止を図るため、庁舎内に設置する「枚方市障害者虐待防止センター」などにおいて、虐待に関する通報・相談等に対応するとともに、枚方市障害者虐待防止関係機関会議などによる関係機関との連携強化に取り組む。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> 「枚方市障害者虐待防止センター」などにおける虐待の通報・届出・相談等への対応 枚方市障害者虐待防止関係機関会議の開催
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	<ul style="list-style-type: none"> ①「枚方市障害者虐待防止センター」などにおける虐待の通報・届出・相談等への対応 ②枚方市障害者虐待防止関係機関会議の開催
	実績（評価）	<ul style="list-style-type: none"> ①虐待の通報・届出・相談等72件に対して、養護者・施設従事者・使用者へ事実確認の為の訪問調査、聞き取り、対応方針の検討会議、分離措置や虐待防止のための注意などを行った。 ②枚方市障害者虐待防止関係機関会議を1回、開催した。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	<ul style="list-style-type: none"> ①虐待の通報・届出・相談等86件に対して、養護者・施設従事者・使用者へ事実確認の為の訪問調査、聞き取り、対応方針の検討会議、分離措置や虐待防止のための注意などを行った。 ②枚方市障害者虐待防止関係機関会議を1回、開催した。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	<ul style="list-style-type: none"> ①虐待の通報・届出・相談等63件に対して、養護者・施設従事者・使用者へ事実確認の為の訪問調査、聞き取り、対応方針の検討会議、分離措置や虐待防止のための注意などを行った。 ②枚方市障害者虐待防止関係機関会議を1回、開催した。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	①虐待の通報・届出・相談等72件に対して、養護者・施設従事者・使用者へ事実確認の為の訪問調査、聞き取り、対応方針の検討会議、分離措置や虐待防止のための注意などを行った。 ②枚方市障害者虐待防止関係機関会議を1回、開催した。
備考		

課題・今後の対応	平成24年度から現行体制のもと対応しているが、虐待通報の内容も複雑化し、対応や処理には多くの時間を要することとなっているが、適切な判断によりきめ細やかな対応に努める。	
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
障害者虐待に関する相談件数	○		33	42	72	86	63	72	-	件
指標の説明			障害者虐待に関する全ての相談に対応している。						当初目標値	達成年度
「障害者虐待防止センター」における障害者虐待に関する相談件数										
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明									当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明									当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明									当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明									当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	160	50	25	0	0	0	85
2017(H29)年度	120	60	30	0	0	0	30
2018(H30)年度	49	24	12	0	0	0	13
2019(R1)年度	156	78	39	0	0	0	39

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）